

カトリック仙台司教区・ **カリタスジャパン** 東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
1) 義援金振替口座:02260-9-2305
名義:カトリック仙台司教区本部事務局
2) 支援金振替口座:00170-5-95979
名義:カリタスジャパン

震災後から、「歌うことは祈ること、歌うことは共にあゆむこと」と歌声で、仮設の方々や商店街の人々を癒してこられたシスター方の活動と、福岡の婦人たちが中心になって、福島の子どもたちを招く「博多に きんしゃ〜いプロジェクト」、そして、米川（南三陸）ベースでのバーベキューパーティーと、米川地区の運動会で最下位脱出を目指しての奮闘ぶり、最後に、NPO法人の認証を受け、新たな歩みを始めた「障がい者自立センターかまいし」をご紹介します。

どの記事からも、被災地で被災者に寄り添っていく姿が伝わってきます。ぜひ皆さんも、その働きに加わってみてください。

被災地での祈りの歌

イエスのカリタス修道女会 シスター峯 妙子

私たちスモールクワイアは、今年6月14日から2泊3日で7回目となる被災地でのミニコンサートを行いました。この時は、米川・石巻ベースが、コンサートの場所探し、ポスター作成と配布などのご協力をしてくださり、仮設、ベース、南三陸町の商店街、大船渡教会など6ヶ所で歌をお届けすることができました。このようにベースのお働きのおかげで、今ではスムーズに出かけることができるようになりましたが、最初のコンサートの時は、不安も多く、大変緊張したことを思い出します。

それは震災の2ヶ月後の2011年5月21日、宮城県石巻市の門脇中学校の避難所でした。大震災後、日本の多くの方々が、その復興のために何かしたいと願っていたと思います。私たちスモールクワイアも、その機会を探し、シスターズリレーのボランティアに行くシスターに様子を尋ねていました。そのうち、石巻ベースに行っていたシスターから「今がその時」との連絡が入り、早速担当者が、仙台教区サポートセンターや、石巻教会と連絡をとり、石巻ベースが「お湯出し」をしていた門脇中学校で歌わせていただけることになりました。



慎重に曲を選び、日中は仕事なので、夜に集まって必死に練習。しかし、出発の日が近づくにつれ、不安もよぎりました。「果たして歌だけ歌いに行くことに意味があるのか?」「おそらく初めてシスターを見る方々は何と感じられるだろう?」などなど。いよいよ出発の前日、管区長をはじめ、会員のシスターたちの前でリハーサル。被災地にも届くようにと魂を込めて歌った時、自分の中ではっきりしたことがありました。私たちは、ただ、歌を歌いに行くのではない。歌うことが私たちの祈り。様々な不安を抱えている方々に出会い、その思いを汲み取って私たちが直接神様に助けを願うこと、これが私たちの使命だと。当日はとても緊張しましたが、皆で輪になって小さなお祈りを捧げて始めました。歌い終わって、「癒されたよ」という温かいお声も伺うことができました。



仮設住宅の皆さんと一緒に



ところでスモールクワイアとは、典礼における音楽の役割を重視していた修道会の創立者の意向で、日々の典礼の祈りの中で神様を賛美するために、約半世紀の間、その世代のシスターたちによって引き継がれてきた聖歌隊です。2002年に誓願式の記念品として、また病気の方々も一緒に祈って頂けるようにとCD「わたしをお使いください」を制作したのがきっかけで、教会関係その他のイベントなどで歌う機会が増えました。リリースしたCDも4種類になり、歌を通して神に賛美をささげ、神の愛といつくしみを伝えることを使命として活動しています。

このように修道女の聖歌隊ですが、何度か被災地を訪問するうちに、確信することができました。本当に心と願いを込めた歌は、届くということ。2011年11月26日、志津川の仮設に歌いに行った時のことです。あるお元気そうな女性が、「何を歌うの?ここの人は“きよしのズンドコ節”みたいな、歌って踊れるのが好きよ!」ときさくに声をかけてくださいました。しかしこの女性は終わった時、すぐに「いのちのお話が一番良かった」と本当に感動の面持ちでおっしゃってくださいました。「生きてほしい、かけがえのないあなたの命を」と願った心が届いたと感じました。被災地では、いろいろな所で歌う機会がありましたが、「門脇中学校の避難所で聞いたよ」という方々にも再会することができました。私たちスモールクワイアにとって、歌うことは祈ること、そして歌うことは共に歩むこと、そうであるように心から願っています。



“博多にきんしゃ〜い”プロジェクト 〜ふくおかの下、のびのび飛びまわってほしい!!!

福岡地区カトリック女性の会 深堀 邦枝

福島原発事故の影響で、不自由な生活を余儀なくされている福島県内の親子及び広域避難生活をされている親子に、放射能の心配から少しでも開放され、子どもたちはのびのび遊び、親御さんたちにはゆっくりとした時間をすごしていただく。

2012年9月の研修会で、福島から避難してきていた若い母親からの証言を聞いた。同時期に日本カトリック女性団体連盟（日カ連）から、全国の団体に司教団メッセージを受けて「あなたたちには何ができますか？」という、宿題が届いていた。

福岡地区カトリック女性の会は、福島からのお母さんの証言を深く受け止め、小さなお子さんを持った若い家族、親子を数日でも保養に招きたいと昨年10月22日から3日間3人を福島へ派遣し、原町、二本松を回って帰ってきた。

参加してくださる親子の募集に手間取っていた時、出会ったのは「きらきらぼしネット」だった。早速、実行委員会を立ち上げ、1年越しの準備が始まった。誰を招くのか、ホームスティか？大きな施設がいいのじゃないか？資金は？

資金集めにと、手作りで聖書カバー、典礼聖歌集カバー作りにほぼ毎日誰かが作業室に集まってこつこつ製作しバザーを開催。



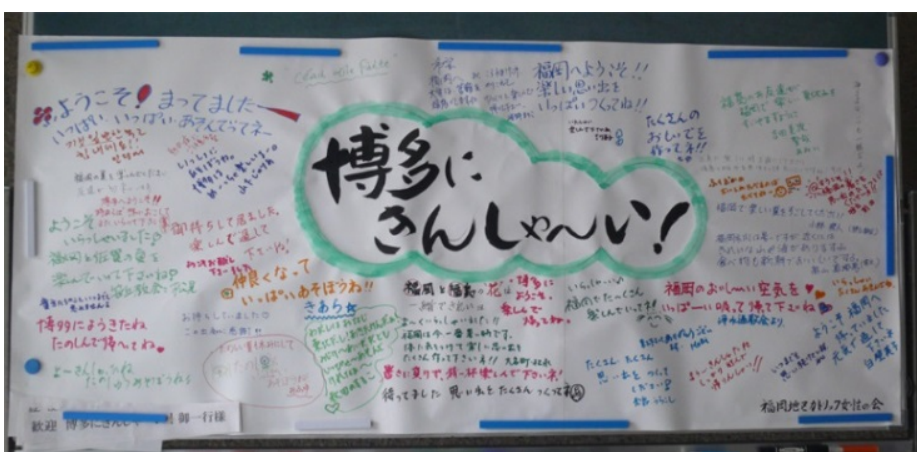
チャリティコンサートではプロでなく、ある教会幼稚園のママクラスに信徒が加わっての大合唱に大聖堂が満員になった。

実行日は7月25日から28日。場所は2012年3月をもって閉院することになっていた「聖母訪問会大濠修道院」を利用することになり、女性の会は大喜び。

シスター方も、4月に退去予定だったのを、実行期間の7月まで延長して下さって支えてくださった。また、スタッフの駐車場にと近くの日本聖公会聖パウロ教会が駐車場の利用を申し出てくださった。

この頃には、福岡地区の信徒協も巻き込み福岡地区15の小教区の信徒が総出の感じになった。1回目の準備の掃除に参加したのは、福岡中から80人余り。ていねいに、隅々まで磨き上げます。ご家族に使っていただく部屋ごとに、かわいいバナーの表札も準備した。

連日35度を超す福岡。冷房が入っている部屋は3か所だけ。レンタルの冷風機や扇風機を男性が設置。女性群は隅々までチェックし、気持ちよく過ごしていただけるように徹底してお掃除。80代の信徒も、50代の神父様も首にタオルをまいて流れ落ちる汗と格闘しながら、本当によく働いた。



7月25日、3歳から10歳までの15人の子どもを含む30人10家族が到着した。女性の会で練り上げた「思いっきり野外」の企画に、子どもたちの歓声が朝から晩まで絶えなかった。

「どんぐり村」では、馬に乗る子、アスレチックのローラーすべり台、草スキーもやり放題。新鮮な空気と、安全な土にたわむれたひと時になったろうか？親たちは、子どもたちの歓声に「この日々が、福島でもほしい」と思ったにちがいない。大人たちは、福岡の街に出て、お買い物や「長浜ラーメン」を堪能。おいしかったでしょうか？



最終日は日曜日。皆で、カテドラル大名町教会のミサに参加していただいた。

「また来てもいいですか？」 「もう帰るの？」

「福島にも来てください」「本当にゆっくりできました」

たくさんの、美しい言葉が涙の中に飛び交って、さようならの時を迎えた。まだ、まだ、まだ、まだ、困難はなくなる。分かっているけど「がんばってください」。

福島の人々のためにできたことは、たった30人の人々の保養だった。かかった経費は、130万円くらい。これを差し上げればもっと多くの福島の人々の何かになったかもしれない。でも、この30人は、少なくとも福岡地区の教会の信徒数千人に「福島の罪」を教えてくれたのではないだろうか。日本で、3番目の被爆地になった福島。

何があったのか、何があるのか、何をなくさないといけいいのか、これからもずっと寄り添い、同伴者となっていかなければ。主は「あなたの信仰に聴きなさい」とおっしゃっている。きっと！あなたたちには、何ができますか？

福島親子に寄り添いつづけることができますように！

「出て行きましょう 前に進みましょう

歩き続けましょう。」（教皇 フランシスコ）



バーベキューパーティー in 米川(南三陸)ベース

仙台教区サポートセンター シスター長谷川 昌子

8月21日(水)、1日のボランティア活動を終え、ベースに戻った夕刻から、米川(南三陸)ベースで、バーベキューパーティーの準備が始まりました。

このバーベキューパーティーは、昨年からベース主催の行事として始まり、米川教会の方、ベースのある米川1区と呼ばれる地域の方々、全国からボランティアに来てくださっているの方々、石巻ベースのスタッフとボランティア、仙台教区サポートセンターのスタッフたちを招待して行われるものです。今回は、釜石での会議終了後、平賀徹夫仙台教区司教と小松史朗教区事務局長もかけつけ、総勢約60人が集まりました。

ベース裏庭にバーベキューの焼き台が置かれ、その時活動に参加していたボランティアさんが、今度は焼き方にまわり、肉や野菜が焼かれ始め、周囲によい香りが漂い始めました。その香りに誘われた



ように地域の方々も出揃い、飲み物が配られ、千葉道生ベース長が、いつも変わらずご協力をしてくださる皆さまに感謝し、乾杯の音頭をとり、パーティーが始まりました。

1区の区長さんも参加され、「私たちが、南三陸に近い所に住んでいるから、ボランティアをしなけりゃあならないんだけど、年寄りだからできないでいたことを心苦しく思っていたら、こんなにたくさんの若者がいつも姿を見せてくれるようになった。ほんとうにありがとう」と、頭を下げられました。

他に1区の住民の方々もたくさん参加してくださり、「この子は、米川聖マリア保育園に行っているんですよ」と話しかけられる方、「この人たちは、みんないい人たちだねえ。いつも、礼儀正しくて、感心するよ」とおっしゃった方もおられ、米川ベースがこの地域にしっかりと根付いているということを肌で感じとることができました。

ベースの近くに住み、ベース活動を支えてくださっている聖母訪問会のシスター、やはり近くに住みながら、「ハグ・ハウス」とともに傾聴活動に協力している聖心の聖母会のシスター、石巻ベースから来られたイエスのカリタス会のシスターなども加わり、地域の方々と活発に、和気あいあいと話がはずんでいました。バーベキューパーティーが、ボランティア、スタッフ、地域の方と出会い、触れあうよい機会となっています。

日も沈み、満月に照らされる頃、和やかな雰囲気の中に、再会を約してお開きになりました。

楽しかった運動会

～「米川1区」住民として運動会に参加～

カリタス米川ベース 向井 清子

9月22日、日曜日。米川地区対抗運動会が開催されました。米川ベースは「米川1区」に位置するため、地元住民の皆さんのご厚意により、昨年に引き続き、今年も参加させていただくこととなりました。

秋晴れの爽やかな空に、澄んだ風が吹き渡り、運動場には万国旗が掲げられ、運動会日和の一日です。普段は人を見かけることも少ない米川ですが、この日ばかりは住民が一堂に会する機会。米川随一のビッグイベントと言っても過言ではないでしょう。

参加が決まったその時から、米川ベースは当日に向けて、大わらわ。でも着々と準備が進められていきます。参加者を募り、種目を振り分け、役員会に出席し、当日前の2日間は地区の練習会に参加し、ある者は自分で走り込みをし、準備とともに参加者の意気込みも段々と強

第43号 2013年9月31日

まっています。そして迎えた運動会当日。1区の代表者によるユニークな選手宣誓の後、開会宣言とともに、運動会の開幕となったのです。

あまり大きな声では言えないのですが「万年10位」と不名誉にも謳われる「米川1区」は、昨年も10位のままでした。全10区の内、第10位。正直に申し上げますと、「ベースからは若い人が参加するし、少し順位上げるかもね。優勝しちゃったりしてね」と淡い期待を抱いていたのが見事に打ち破られ、例年このガチンコ大運動会に真剣に挑んできた米川住民の運動能力の高さに目を見張り、圧倒されるわたしたちがいました。結果、惨敗。嗚呼！

わたしたちの今年の運動会にかかる意気込みが少しは伝わったでしょうか。日々、暑い日も、寒い日も、風の日も、雪の日も、南三陸町での活動に通ったこの1年、スタッフとボランティアの間では、去年の楽しかった運動会と、雪辱の想いが、語られることがありました。長い様であつという間のこの1年。短い様で、待ちに待ったこの1年。そういう経緯を辿り、遂に迎えた今年の運動会なのです。

実況アナウンスが何度も告げました。「1区からは黄色い歓声が挙がっています。」わたしたちの運動会にかかる意気込みは、種目参加者への必死の応援に表れていたと思います。とにかく順位を上げたい。勝ちたい。みんな真剣です。

そして結果発表。米川1区は9位でした。アナウンスと共に1区からの歓声が挙がりました。間違いなく順位を上げて一番喜んでいるのは、わたしたち1区なのでした。



真剣勝負って面白いです。運動会があまり好きではなかった子だったわたしは、まさか大人になってガチンコ運動会に参加し、声が洩れる程応援するとは。参加者の誰かが言っていました。「自分で参加するのはこれが最後の運動会。今後も自分の子どもに、付き添うことはあるかもしれないけど」

ちなみに、わたしの参加した種目は玉入れ。練習の時は1つも入れることが出来ず、「目標1個」としていましたが、当日2個入れることができて、心温まる上機嫌の日々が今も続いています。

大人のための運動会、本当に楽しかったです。



陣取り合戦！

2チーム対抗で1本のロープを引き合い、ロープを引いたまま自陣のフラッグを引き抜くという競技で、ボランティアさんも大活躍しました！！

特定非営利活動法人

「障がい者自立センターかまいし」
からのご報告

NPO法人障がい者自立センターかまいし 阿部 貴子

東日本大震災後、被災地障がい者センターかまいしは、カトリック名古屋教区をはじめ、社会福祉法人AJU自立の家を中心に全国の障害者団体の皆様にご協力をいただきながら被災地支援を行ってきました。

今年9月10日に「特定非営利活動法人 障がい者自立センターかまいし」として、釜石市役所市長室にて認証式が行われ、山田昭義理事長（AJU自立の家専務理事・押切教会）の他、理事3名、車いす当事者等で計6名が出席しました。認証式の後、市長とお話する時間が設けられ、出席者が一人ずつNPO法人設立に対する思いをお話しました。



今までは、障害者や高齢者の通院や買い物、入浴の支援、送迎を行っていましたが、これからは、地元の方を中心としたセンターとして、東日本大震災により障害者が被災されたのを機に、障害当事者のニーズを最大限尊重した多様な福祉サービス

を実施することによって、社会的に弱い立場の方の生活を支え、希望する自立した生活を地域社会で営むことができるよう支援することを目的とした事業を行います。

1つ目の事業として、障害者支援のためのボランティア事業で、今まで行っていた被災地支援を継続して行い、釜石市を中心とした三陸沿岸地域において、介護保険等公的サービスを利用することが困難な方に対して、送迎（買い物、通院、通学）、入浴介助、家事援助等のサービスを行います。

2つ目の事業として、自立生活支援事業を行う予定で、社会参加と自分らしい生活を送るうえで基本となる経験や技術、知識を学ぶために自立生活プログラムを提供するという事業です。

3つ目の事業は、障害福祉サービスを実施し、釜石市を中心とした三陸沿岸地域において、常時介護を必要とする障害者（児）に対して入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動、または生産活動の機会の提供、その他必要な援助を行い、日中親の元を離れ、自分らしさを出し、自分のことは自分で考え行動し、そして、その責任は自分で負うという当たり前の生活の第一歩を創る場を提供します。

4つ目の事業は、車いす無料貸し出し事業です。釜石市を中心とした三陸沿岸地域において、怪我や病気などによって一時的に車いすを必要とする方や、介護保険等公的サービスを申請中の方等に無料で貸し出しをいたします。

沿岸地域の障害福祉サービスは、当事者主体のところは少なく、ほとんどが事業所主体となっているのが現状です。重い障害を持っていても、地域で自分らしく生活できるような支援を行っていく事を目的としています。新しい事業もスタートで、すべき事が山積みですが、スタッフ一同、心は燃えています。今後とも皆様のご協力、ご支援をどうぞよ



るしくお願いいたします。

ボランティア募集ポスター&チラシが新しく出来ました！

この度、ボランティア募集ポスター（A3サイズ）とチラシ（A4サイズ）を作成いたしました。ポスターやチラシを掲示及び設置してくださる方は、無料でお送りいたしますので、必要数と送付先を以下の問合せ先までお知らせください。

【問合せ先】仙台教区サポートセンター

電話：022-797-6643 または 090-1217-3233

Eメール：sendaidsc@gmail.com

東日本大震災 ボランティア 募集中

【札幌カリス古本ベース】 【ベース所在地】〒002-0002 新千歳空港駅前1-2-14 カトリック富田教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 札幌カリス古本ベース HP: http://www.csl.or.jp/newlist/ 2013daishinsai_index.html 電話番号: 011-243-2785 FAX: 011-223-3668 メールアドレス: sdaivol@csd.or.jp	【カリス大船渡ベース】 【ベース所在地】〒028-0122 船方町上野町大船渡町4-42 カトリック大船渡教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 カリス大船渡ベース HP: http://otsuchibase.web.fc2.com/ ブログ: http://ameblo.jp/otsuchibase/ 電話番号: 0193-55-5885 FAX: 0193-55-5886 メールアドレス: otsuchibase@gmail.com	【カリス釜石】 【ベース所在地】〒985-0022 釜石市釜石町大字大船渡町2-4-6 カトリック釜石教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 カリス釜石 HP: http://www.cattaskamaiishi.com/ ブログ: http://ameblo.jp/kamaiishi31/ 電話番号: 0193-27-9030 FAX: 0193-27-9030 メールアドレス: kamaishi.vol@gmail.com	【カリス大船渡ベース】 【ベース所在地】〒028-0122 船方町上野町大船渡町4-42 カトリック大船渡教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 カリス大船渡ベース HP: http://otsuchibase.web.fc2.com/ ブログ: http://ameblo.jp/otsuchibase/ 電話番号: 0193-55-5885 FAX: 0193-55-5886 メールアドレス: otsuchibase@gmail.com
【カリス米川ベース】 【ベース所在地】〒985-0001 宮城県仙台市青葉区米川町1-14 一宮教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 カリス米川ベース HP: http://cattasagami.jp/newlist/ 電話番号: 022-797-6643 / 090-1217-3233 FAX: 022-797-6648 メールアドレス: sdaivol@gmail.com	【カリス石巻ベース】 【ベース所在地】〒986-0875 宮城県石巻市広町2-14 一宮教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 カリス石巻ベース HP: http://cattastoma.jp/newlist/ 電話番号: 022-797-6643 / 090-1217-3233 FAX: 022-797-6648 メールアドレス: sdaivol@gmail.com	【CTVCカリス原町ベース】 【ベース所在地】〒987-0019 宮城県仙台市青葉区原町2-35 一宮教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 CTVCカリス原町ベース HP: http://www.jbm.net/ctvc/01/02_2/ haramachi@ctvc.916.html 電話番号: 0244-26-7718 FAX: 0244-26-7718 メールアドレス: haramachi@tokyo.catholic.jp	【いわきサポートステーション「もみの木」】 【ベース所在地】〒970-0047 福島県いわき市中央公民館2-11-2 一宮教会 【活動内容】 * 高齢者での移動フェス開催 * 高齢者への移動支援 * わがまちでマーケットの準備や実施 * 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります 【お問い合わせ】 いわきサポートステーション「もみの木」 HP: http://saitama-kyokunet/our_people/ad_office/relief_center/volunteer/ メールアドレス: saitama-saposen@nifty.com 電話番号: 090-9972-4946

東日本大震災 ボランティア 募集中！

（ベース所在地・主な活動内容）

（お申し込み先）

札幌カリス古本ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

カリス大船渡ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

カリス釜石
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

カリス大船渡ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

カリス米川ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

カリス石巻ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

CTVCカリス原町ベース
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

いわきサポートステーション「もみの木」
* 高齢者での移動フェス開催
* 高齢者への移動支援
* わがまちでマーケットの準備や実施
* 災害を通じて大規模な活動が可能な場合があります

札幌カリス古本ベース
ホームページ: <http://www.csl.or.jp/newlist/>
2013daishinsai_index.html
メールアドレス: sdaivol@csd.or.jp
電話: 011-243-2785 FAX: 011-223-3668

カリス大船渡ベース
ホームページ: <http://otsuchibase.web.fc2.com/>
ブログ: <http://ameblo.jp/otsuchibase/>
メールアドレス: otsuchibase@gmail.com
電話: 0193-55-5885 FAX: 0193-55-5886

カリス釜石
ホームページ: <http://www.cattaskamaiishi.com/>
ブログ: <http://ameblo.jp/kamaiishi31/>
メールアドレス: kamaishi.vol@gmail.com
電話: 0193-27-9030 FAX: 0193-27-9030

カリス大船渡ベース
ホームページ: <http://otsuchibase.web.fc2.com/>
メールアドレス: efunatobase@gmail.com
電話: 0192-47-4737 FAX: 0192-47-4737

カリス米川ベース
ホームページ: <http://cattasagami.jp/newlist/>
電話番号: 022-797-6643 / 090-1217-3233
FAX: 022-797-6648
メールアドレス: sdaivol@gmail.com

カリス石巻ベース
ホームページ: <http://cattastoma.jp/newlist/>
電話番号: 022-797-6643 / 090-1217-3233
FAX: 022-797-6648
メールアドレス: sdaivol@gmail.com

CTVCカリス原町ベース
ホームページ: http://www.jbm.net/ctvc/01/02_2/
haramachi@ctvc.916.html
メールアドレス: haramachi@tokyo.catholic.jp
電話: 0244-26-7718 FAX: 0244-26-7718

いわきサポートステーション「もみの木」
ホームページ: http://saitama-kyokunet/our_people/ad_office/relief_center/volunteer/
メールアドレス: saitama-saposen@nifty.com
電話: 090-9972-4946

ボランティアさん急募

10月以降、ボランティアさんのお申し込みが激減しております。被災地では、まだまだ継続的な支援を必要としております。どうぞ皆様のお力をお貸しください。ご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。